

交通安全教室が行われました

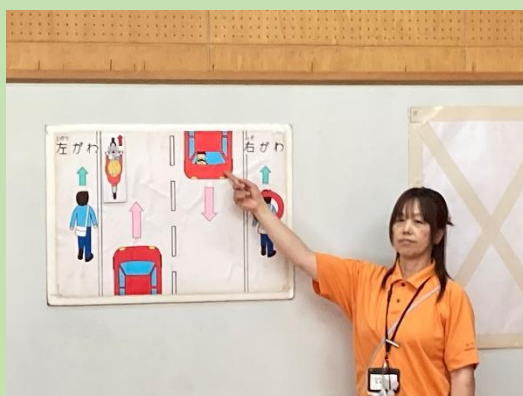
長野県交通安全教育支援センターから 3 名の講師をお招きし、交通安全教室を行いました。

午前中は、小学部と中学部の児童生徒が体育館に設置した模擬道路を使い、横断歩道の安全な横断方法や道路の安全な歩き方について学習しました。

午後は、高等部の生徒がクイズ形式で交通安全について学びました。その中で、「青信号だからといって安心せず、横断中も車の動きに十分注意することが大切です。長野県内でも、青信号で横断中に車が進入して事故に遭うケースが増えています。」というお話がありました。



また、今年 4 月から自転車の交通違反にも罰則が適用されることに触れながら、具体的な違反行為について説明していただきました。さらに、歩行者は道路の右側、自転車は左側を通行する理由についても、わかりやすく教えていただきました。



学習の最後には、交通事故防止に役立つ反射材クリップづくりを行いました。

参加した生徒からは、「知らなかったこともあり、とても勉強になりました」「反射材クリップを作ることができて良かったです」などの感想が聞かれました。

交通安全について改めて学び、自分の命を守るために大切なことを考えるよい機会となりました。

